



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

庁舎の増築は必要ない



問 12月議会で否決した庁舎増築委託料を、その後何もせずになぜ再度提案してきたのか。

答 (市長) 前は説明不足でした。市民サービスの向上、業務の効率化の面で、当然、議員に理解いただいていると思っていました。一日でも早い整備により、市民の利便性の向上、窓口のプライバシーの確保、また防災体制の確保、業務の効率化を図っていきたいとの思いからです。

問 何のための増築か。職員はどう感じているか把握されたのか。

答 (市長) 業務効率、市民サービスの向上のための増築です。職員の声を聞いたのは当たり前です。

問 増築ありきではなく、業務の見直しや、市民の不便をどのように改善するのか、また、将来のデジタル化を考えた上で、増築するかどうか判断すべき。将来見直しを検討されたのか。

答 (市長) 電子化されても相談業務はなくなりませんし、電子化もここ数年ではできません。庁舎を増築し、まずは利便性の向上、市民サービスの向上です。次に業務の効率化、防災対策の充実です。

問 今後多額の支出が必要な中で、まずこの35億円を使うことに市民は不安感を持つ。市民の合意が得られると判断している

のか。

答 (市長) 財政見通しは明確に示しており、今後も安定的な財政運営ができるというもとに進めています。

問 こども家庭センターは、使う人たちの利便性を考えてつくるべきだ。庁舎を増築してつくるのか、健康福祉会館で増築してそれらの機能を統一してやっていくのか。場所からして利用者の気持ちを聞いて考えていくべきではないか。

答 (市長) こども家庭センターの業務を担う地域福祉課は、相談以外にも窓口業務が多くあります。現状の施設のままで相談室を確保して健康福祉会館へ統合すると、窓口が分散してしまい不便になります。こども家庭センターは、熟慮した結果、ここしかないという認識です。



土本 昌幸 議員
(公明党)

将来人口と大型事業について



問 第6次総合計画の推定人口は2045年で3万706人と見込まれています。将来人口を見据えた大型事業の考え方と進め方をお聞きます。市庁舎の増築、総合運動公園、陸上競技場、体育館等の建設意義について説明を求めます。

答 (市長) 人口推計は、ほぼ当たりますので、これを上回るために大きな事業をしないと人口を維持できないと思っています。庁舎の増築は利便性確保の視点です。また、総合運動公園といっ

たスポーツ施設は大きく活力を生むと考えます。そして、学校統合では施設が充実します。人との関わりも重要ですが、統合によりさらに集中した整備ができます。その跡地を利用することができます。

加西市はスポーツ大会ができる施設がなく、市民のスポーツに対する評価も低いと思います。また学校統合も、教育に熱心な市だという評価もあり、非常に重要だと思っています。ソフト事業だけで人口増は望めません。選ばれる市となるよう、大型事業は財政規律を守りながら実施したいと思っています。ただし、5年以上かかるため順次整備をし、住みよい加西市を目指して人口を確保していきたいと思っています。

問 現在、子育て支援の目玉政策である5つの無料化です

が、市長の発言もありましたが、少子化対策は本来、国が行うものと思います。先行して加西市が実施しており、その中でも給食は最もありがたい支援です。市長は「財政が許す限り」やりますとのことですが、国が行うまでは継続すべきだと思います。

庁舎増築等を含めて執行者から丁寧な説明がありました。ただ、市民からの意見を聞くことも含めて、提案もするし意見も聴く、これが大切だと思います。市長の決意をお聞きます。

答 (市長) 市民の意見を聴き、市民と共に市政を歩んでいきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

■その他の質問項目
・市長施政方針